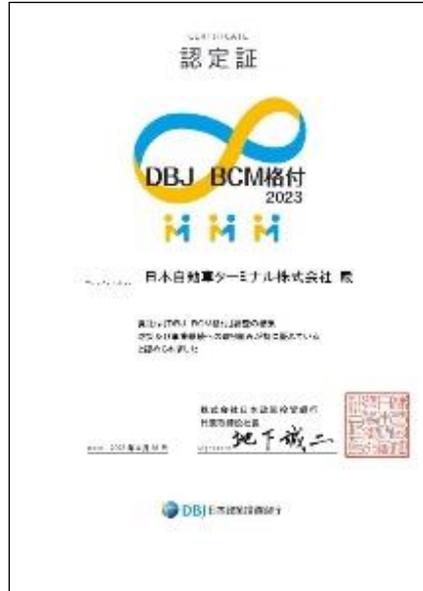


2023年5月8日

日本政策投資銀行から「BCM格付」の最高ランクを取得しました



「DBJ BCM格付」認定証

2023年4月26日（水）、日本自動車ターミナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田裕司、以下、「JMT」）は、株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：地下誠二、以下、「DBJ」）が実施する「DBJ BCM格付」において、通算8度目となる最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ BCM格付」は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。今回の審査では、

1. トラックターミナル機能の継続性を確保するために、各トラックターミナルへの免震・制震技術の導入やテナントや協力事業者にも提供可能な有事の生活物資の確保、全従業員が参加する参集訓練の実施など、ハードとソフトの両面から強固な安全確保策を展開していることに加え、消防懇話会や防火防災協会などの地域の防災力強化に向けた組織に役員として参画し、共助の観点からも防災力向上に資する取り組みを積極的に展開している点
2. 物流拠点としての社会的使命を果たすべく、復旧に不可欠である応急危険度判定士を総合建築事業者との事前の協定により確保していることに加え、事前通行許可証の取得による有事の物流対策やサイバーリスク低減に向けた施策を新たに拡充するなど、継続的なボトルネック解消に注力している点

3. 東京都や総合建築事業者等と連携しながらシナリオ非開示型の全社的な BCP 訓練を実施するだけでなく、全国トラックターミナル協会の相互協力協定に基づき有事の協力要請に向けた情報共有訓練を行うなど、多様なステークホルダーとの連携を通じて、事業継続の実効性向上に努めている点

等の取り組みが評価され、「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」として最高ランクの格付を取得しました。

JMTは、今後も引き続き防災および事業継続の取り組みを積極的に進め、「災害に強いトラックターミナル」を構築してまいります。

以上